

1. はじめに

※材料の確認

御注文いただきました資材及びその数量をご確認下さい。

※工具の準備

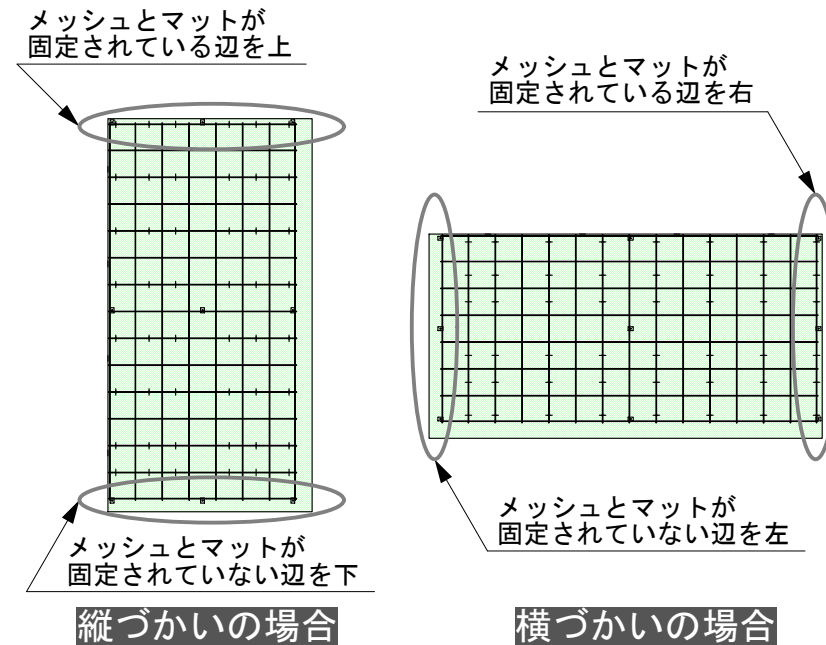
本製品は、壁材によって取付方法及び部材が異なります。詳しくは裏面をご参照下さい。

なお、コンクリート構造物を削孔する場合には、ハンマードリルのご使用をお薦めします。

※保管上の注意

パネルを水に濡らすと登ハンマットがたわみ、施工精度が低下しますのでご注意ください。

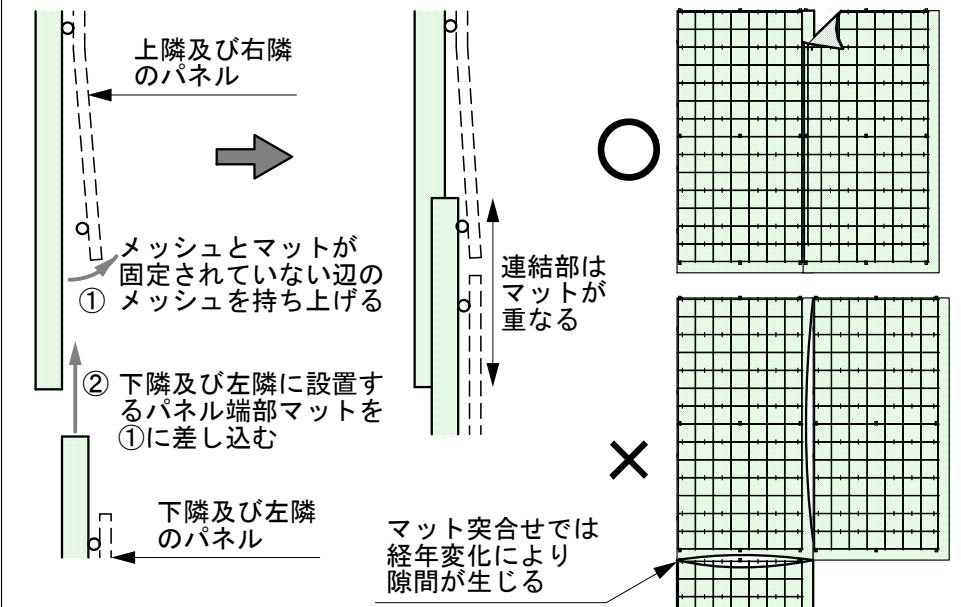
2. 向きの確認



メッシュとマットが固定されている辺を確認します。縦づかいが基本ですが、横づかいでも設置可能です。

※ただし積雪が多い地域では、「横づかい」を基本として下さい。

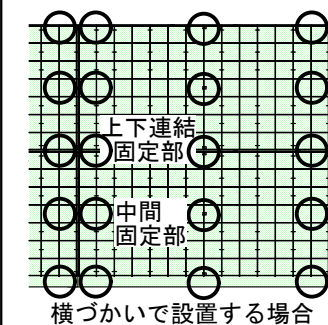
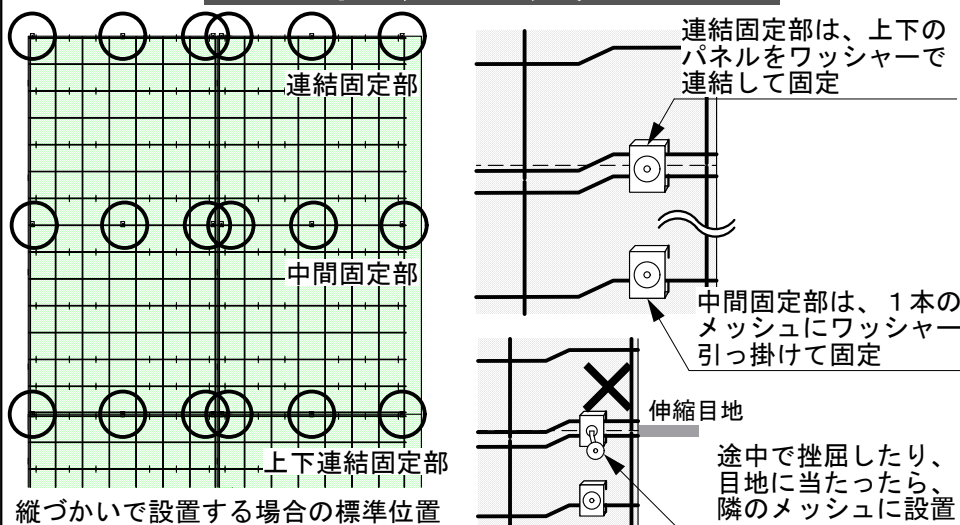
3. 張り合わせ方



上隣及び右隣にあるパネルの端部メッシュを持ち上げマットを差し込んで重ね、メッシュを突き合わせます。上下左右のメッシュを揃えるときれいに仕上がります。

※マットが4枚重なることで、パネルの膨らみが目立つ場合は、下側のマットをカッターで切除して下さい。

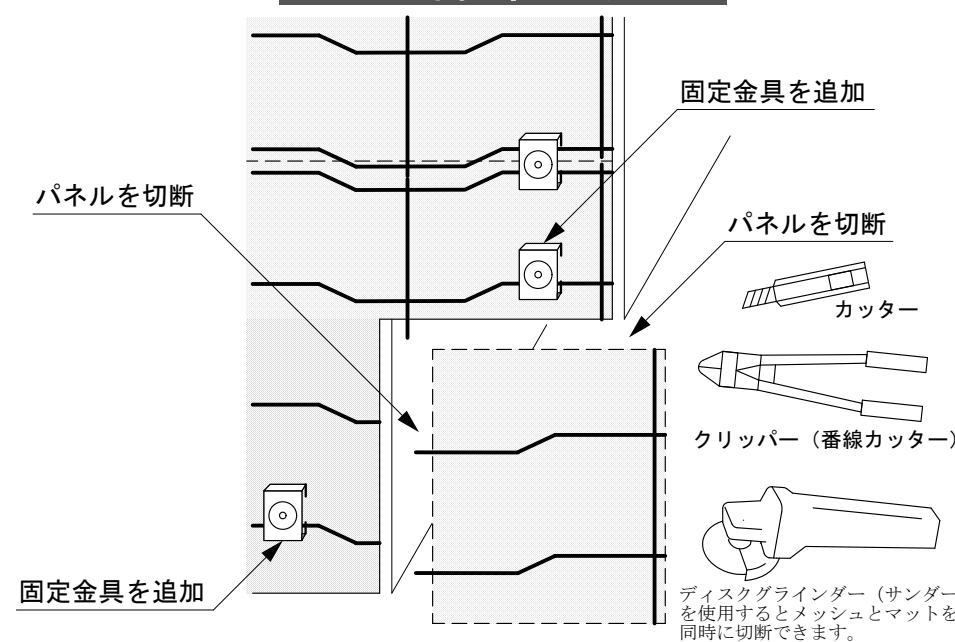
4. 固定金具の取付



連結固定部及び中間固定部の、メッシュとマットが密着する箇所が固定金具の標準位置です。壁材により、固定金具及びその取付方法が異なります。(裏面参照)

※積雪が多い地域や風が強い場所では、固定金具を増やして下さい。

5. 端部の処理



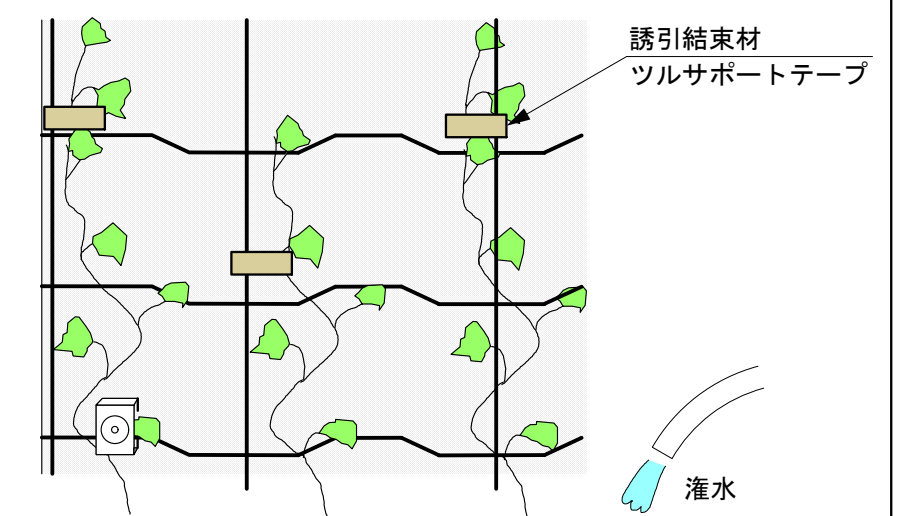
壁面の形状に合わせて現場で容易に切断できます。

必要に応じて固定金具を追加して下さい。

メッシュが1本線の箇所でも固定は可能です。

※メッシュの切断部分にはめ込むキャップは、弊社で取り扱っております。

6. 植付・施肥・灌水・誘引結束



十分に灌水した後、メッシュとマットの間につる植物を絡ませ、必要に応じてツルサポートテープで結束します。

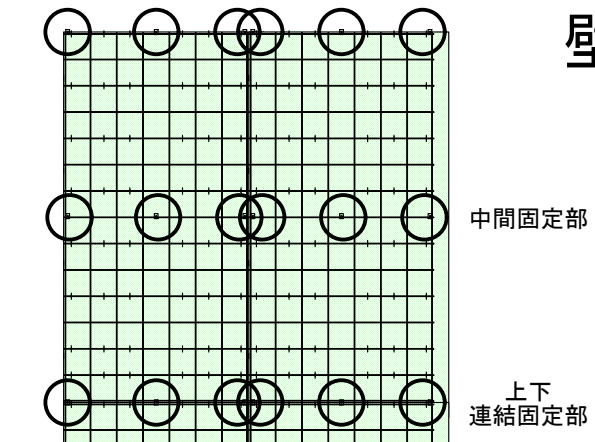
※ツルサポートテープは、つる植物の誘引・結束用資材として弊社で取り扱っております。

※ビニール帯やインシュロック、化学繊維のしゅる縄等できつく結束すると、将来つる植物が大きくなった際、くびれて折れてしまう可能性があります。

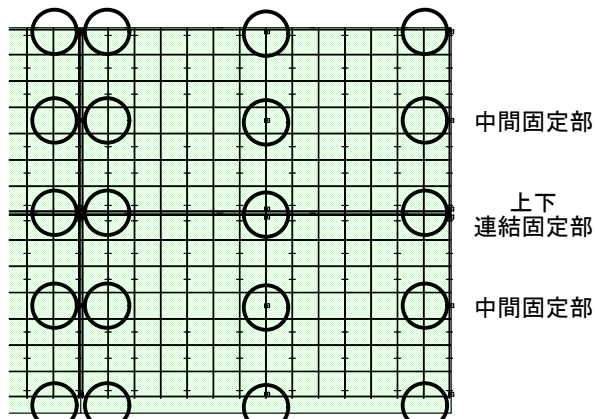
ツルパワーパネル 施工手引き (裏面)

壁材 (金具) によるパネルの固定方法

固定金具の標準位置
(パネル縦づかいの場合)

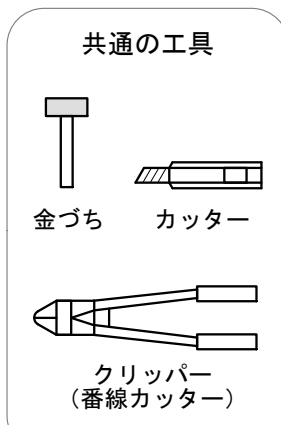


固定金具の標準位置
(パネル横づかいの場合)



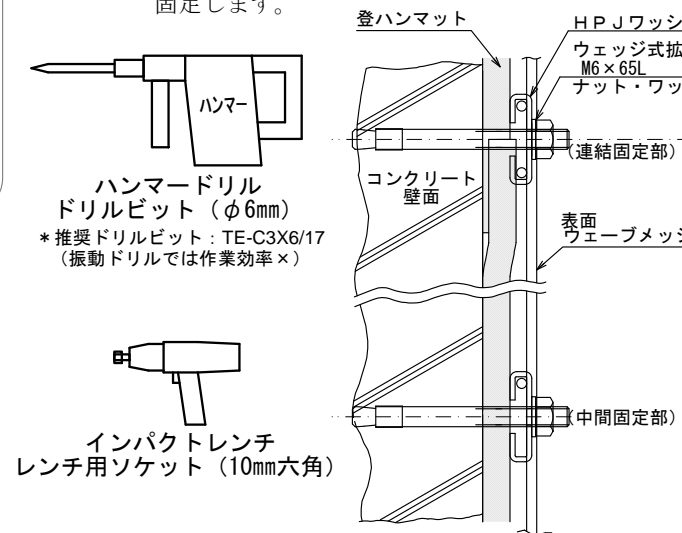
注:積雪が多い地域や風が強い場所では、パネルが変形することがありますので、固定金具を増やして下さい。
注:風荷重や固定金具の引き抜き強度を考慮して問題がない場合、左右のパネルを連結して固定することで、固定金具の数を少なくすることができます。

コンクリート壁



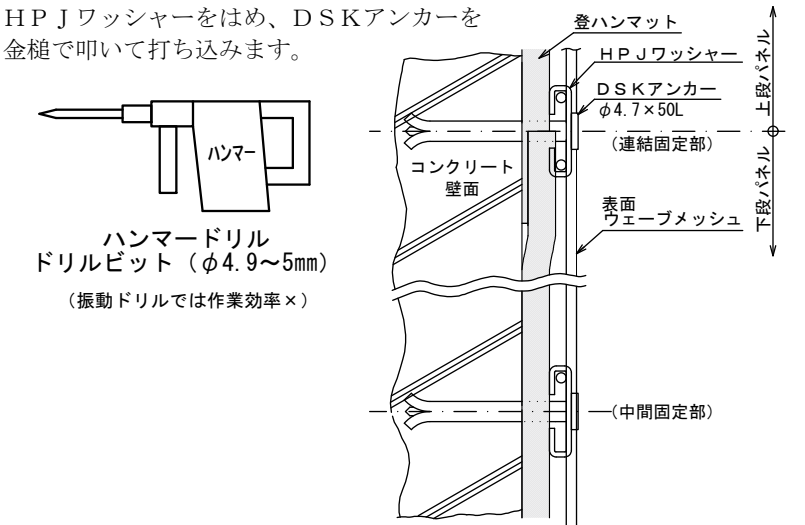
<ウェッジ式アンカーを使用する場合>

1. ツルパワーパネルを壁に当ててアンカー位置を決めます。
2. ハンマードリルでパネルの上から、アンカー用の穴を削孔します。(φ6mm)
3. 削孔部の止水措置が必要な場合は、シーリング材を注入するなどし、防水処理を施します。
4. HP Jワッシャーをはめ、アンカーの頭が10mm程度出るように金槌で叩いて打ち込みます。
5. レンチでアンカーに付いているナットを締め付けて固定します。



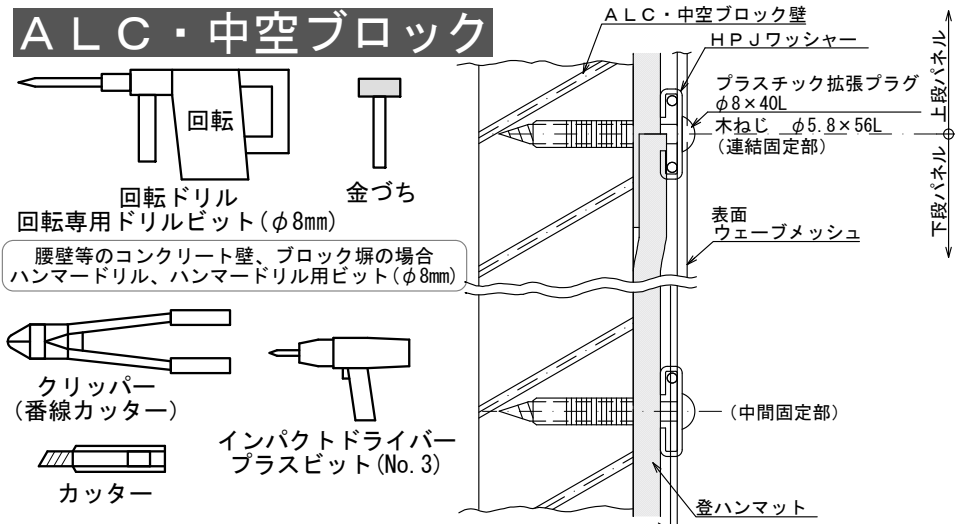
<DSKアンカーを使用する場合>

1. ツルパワーパネルを壁に当て、アンカー固定位置を決めます。
2. ハンマードリルでパネルの上からアンカー用の穴を削孔します。(φ4.9~5mm)
3. 削孔部の止水措置が必要な場合は、シーリング材を注入するなどし、防水処理を施します。
4. HP Jワッシャーをはめ、DSKアンカーを金槌で叩いて打ち込みます。



注:固定金具は、積雪が多い地域や風が強い場所等、必要に応じて増やして下さい。
注:アンカーは、途中で挫折した(折れた)場合は十分な強度が出ませんので、必ず奥まで差し込んでから金槌で打ち込んで下さい。
注:迅速な作業のために振動ドリルよりも、ハンマードリルをお薦めします。
注:切り粉が残らないように、ドリルを前後させるか、少し深めに削孔するとアンカーの打ち込みに失敗しません。

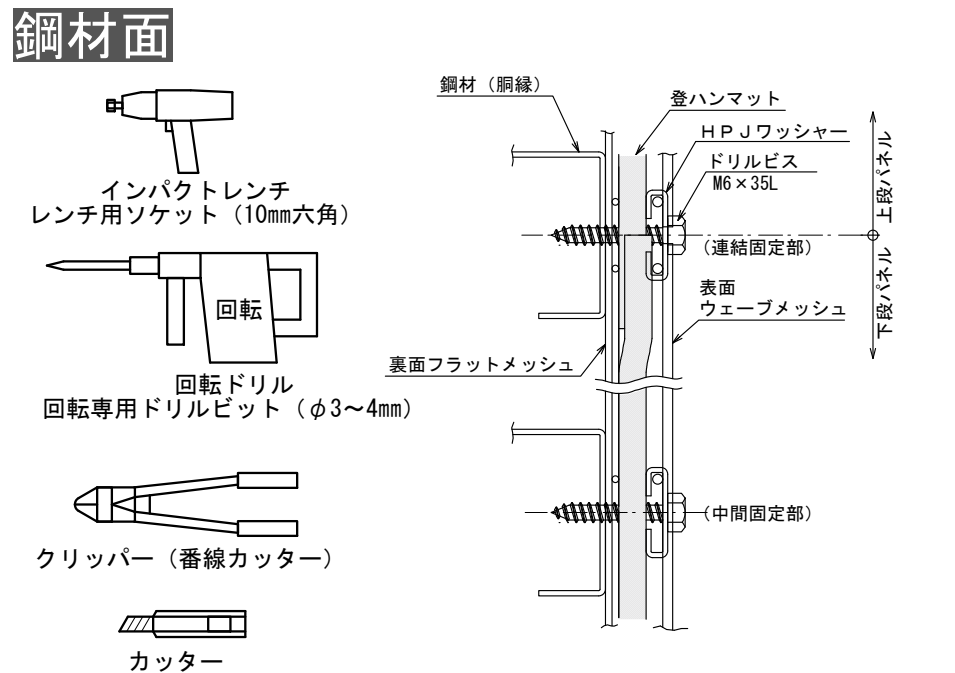
ALC・中空ブロック



1. ツルパワーパネルを壁に当て、固定位置を決めます。
2. ドリルでツルパワーパネルの上から削孔します。
3. 削孔部の止水措置が必要な場合は、シーリング材を注入するなどし防水処理をします。
4. 削孔部にプラグを差込み、パネルにHP Jワッシャーを掛け、プラグの穴に木ねじを軽くねじ込みます。
5. 木ねじに登ハンマットの厚さ位置の印を付け、その位置まで金槌で叩き込みます。
6. ドライバーでねじを締め付けます。

注:ALC (軽量気泡コンクリート) や押出成形セメント板の場合には、必ず回転専用のドリルビットをご準備下さい。
(ハンマードリルのビットを使用すると、壁材の内側が割れて十分な強度が出ません)
注:ALC (軽量気泡コンクリート) や中空ブロックには様々な種類がございますので、事前に厚さ等をご確認下さい。
注:固定金具は、積雪が多い地域や風が強い場所等、必要に応じて増やして下さい。
注:プラスチック拡張プラグの先端を十分奥まで差し込んでから木ねじを金槌で打ち込んで下さい。
注:腰壁等のコンクリート壁やブロック塀の場合、振動ドリルよりも、ハンマードリルをお薦めします。
注:切り粉が残らないように、ドリルを前後させるか、少し深めに削孔するとアンカーの打ち込みに失敗しません。

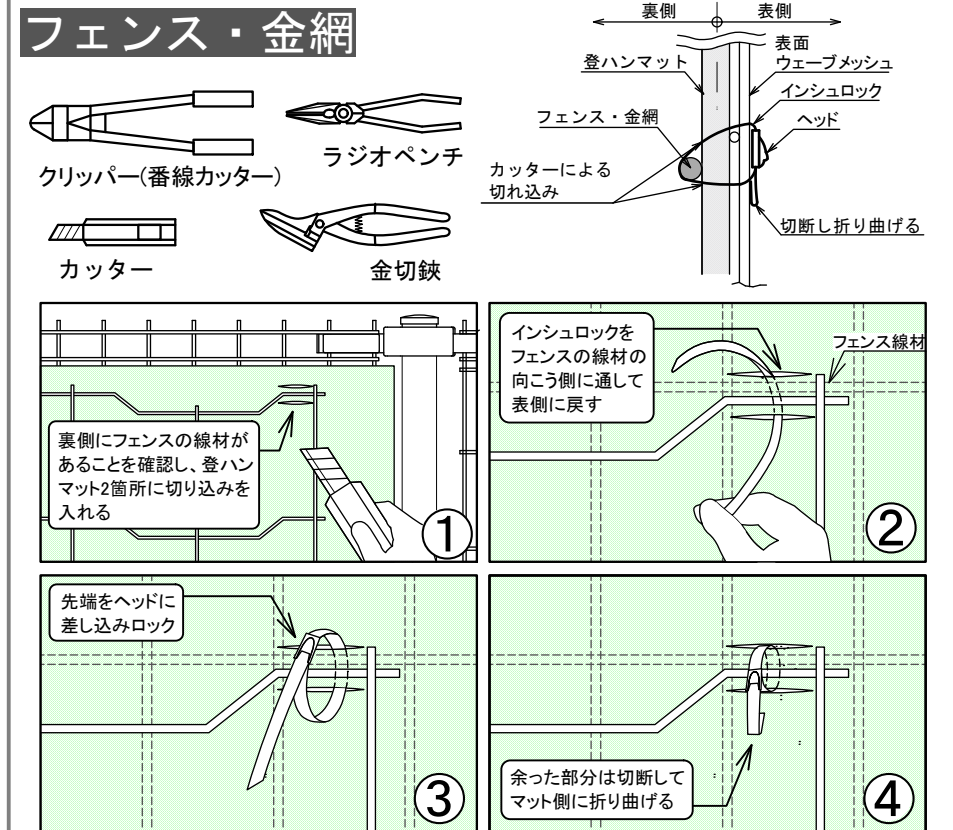
鋼材面



1. ツルパワーパネルを壁に当て、ビス固定位置を決めます。
2. HP Jワッシャーをはめ、ドリルビスをインパクトレンチでねじ込み固定します。

注:固定金具は、積雪が多い地域や風が強い場所等、必要に応じて増やすか、ボルトナットで固定して下さい。
注:鋼板の厚さによっては、ドリルビスによる直接削孔ができない場合がございますので、事前に鋼板の厚さ等をご確認下さい。(通常t=2.3mm程度までは直接削孔が可能です)
注:ビスによる直接削孔ができない場合は、回転ドリルで少し小さめの穴(φ3~4mm程度)を削孔し、ビスでねじ込み固定して下さい。

フェンス・金網



注:フェンスには様々な種類がございますので、事前に規格や強度をご確認下さい。
注:固定金具は、積雪が多い地域や風が強い場所等、必要に応じて増やして下さい。
注:インシュロックは、ツルパワーパネルのメッシュとフェンスの線材と一緒に固定するものです。必ず双方の線材位置を確認したうえで、取り付けして下さい。